生活環境デザインコース

授業番号	L 1
題目	住宅設計のプロセス（かたちにしながら考える）
担当者	足立　真
授業概要	住宅のような小さな建物でも、それを設計するときには、施主の希望、敷地条件、機能、構造、室内環境、法規など、様々な問題について対応し考えなければいけません。そして、そのような諸問題に立ち向かうことは、新しい空間のアイデア、技術的提案などが生まれる切っ掛けにもなっていきます。居住空間のイメージを構想し、建物の形にまとめていくプロセスについて、実例にそって具体的にお話しします。

授業番号	L 2
題目	身の回りの光を見てみよう
担当者	伊藤　大輔
授業概要	近年、LED の普及により身の回りの照明は大きく変化しました。これまでにたくさん使われていた蛍光ランプや白熱電球と一体何が違うのでしょうか？簡易分光器を作って身の回りの光の様子を見てみましょう。光源の種類によって様々な虹を観察することができます。光の基礎から LED を用いた最新の建築の照明を紹介いたします。

授業番号	L 3
題目	住宅の図面を読む
担当者	勝木　祐仁
授業概要	いくつかの住宅の実例を提示します。建築図面から住宅の姿、間取り、内部の様子を読みとってみましょう。さらに、それらの住宅に潜む建築家の設計意図、住まい手のライフスタイル、地域の風土や文化を解読してみましょう。 ※授業のねらい (1) 建築図面を手にとり、見つめることで、建築設計や空間デザインの世界に触れる。 (2) 住宅のかたちを決定する様々な背景を知り、私たちの生活環境の奥深さや、デザインの可能性について学びます。

授業番号	Ｌ４
題目	ウンチとオシッコはどこへ行く
担当者	樋口　佳樹
授業概要	現在、世界人口のほぼ 3 分の 1 にあたる 20 億人の人々が水不足に悩まされています。またトイレすら持たない人は 24 億人もいると言われています。 しかし、日本人は 1 回のウンチ（200g）で 10ℓ、1 回のオシッコ（150cc）で 6ℓ という大量の水を使用しています。臭いウンチやオシッコは、流してしまえば一瞬にして、その場から消え去ります。とても快適です。 しかし、私たちのウンチとオシッコはどこへ行くのでしょう？ウンチとオシッコの行く先から、将来のトイレについて考えたいと思います。